

2027年2月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2026年10月19日



連結業績の概要

2026年3月1日～2026年8月31日



2027年2月期 中間連結会計期間の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2027年2月期Q2累		2026年2月期Q2累		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		2,441	100.0	2,404	100.0	36	1.5
売上原価		801	32.8	808	33.6	△7	△0.9
	印刷費	97	4.0	104	4.4	△7	△6.9
	労務費	56	2.3	63	2.6	△7	△11.1
	その他売上原価	647	26.5	641	26.7	6	1.1
売上総利益		1,639	67.2	1,595	66.4	44	2.8
販管費		1,488	61.0	1,513	62.9	△25	△1.7
	人件費	862	35.3	868	36.1	△5	△0.6
	広告販促費	255	10.5	286	11.9	△31	△10.9
	流通費	11	0.5	15	0.6	△3	△24.6
	その他販管費	358	14.7	343	14.3	14	4.3
営業利益		151	6.2	82	3.4	69	84.3
経常利益		156	6.4	80	3.4	75	93.7
税金等調整前		182	7.5	80	3.4	101	126.1
親会社株主に帰属する中間純利益		115	4.7	63	2.6	51	81.7
EPS		¥6.32		¥3.48			



2027年2月期 中間連結会計期間の業績(セグメント別売上高)

(単位:百万円)

2,500

主力事業の『DOMO』・『DOMO
NET』・『JOB』・『ワガシャ de
DOMO』等のHRテック・RPOなど

連結子会社リンクが運営する
フリーペーパー取次事業等

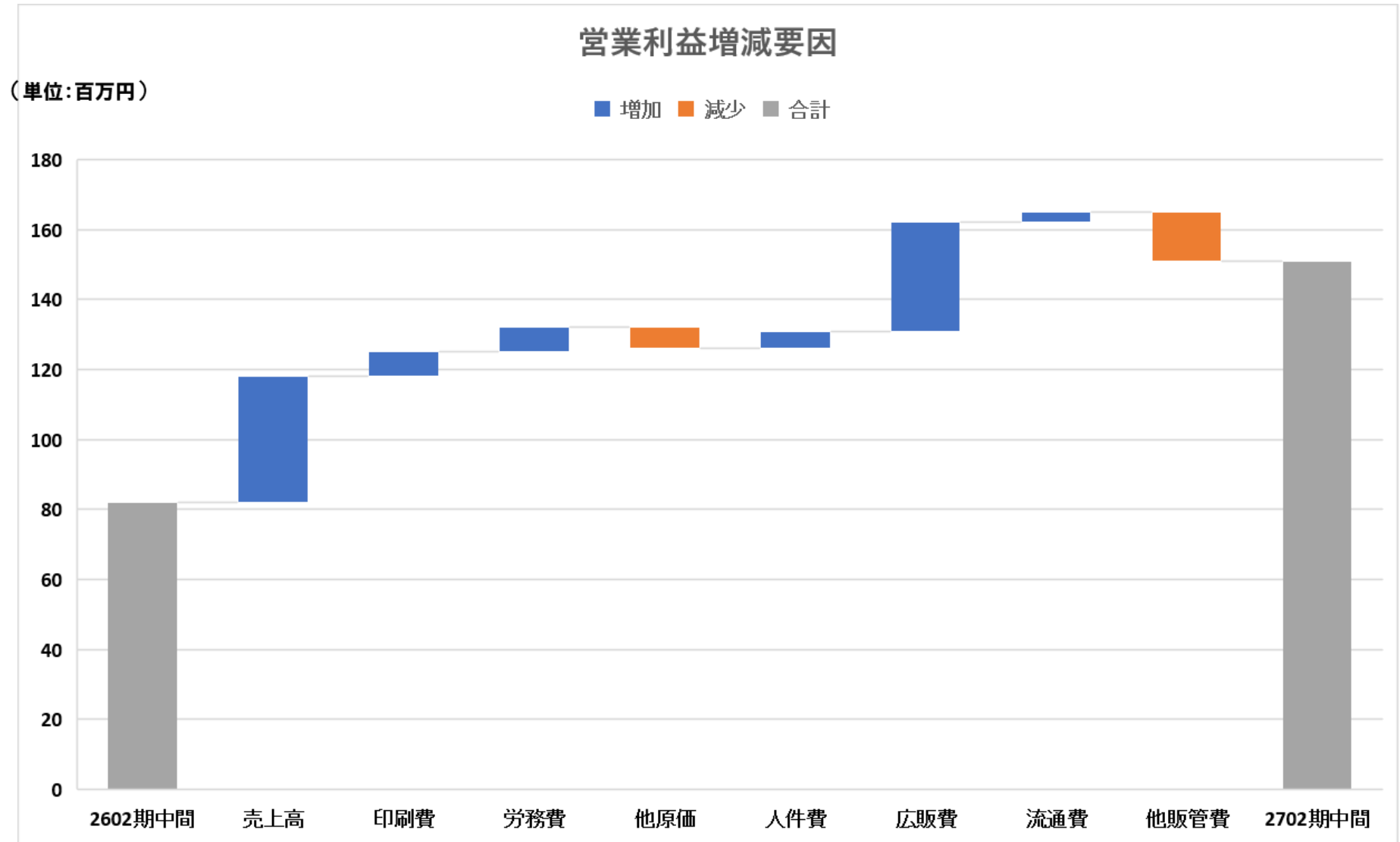
2,400

2,300

2026年2月期中間期 人材サービス事業 販促支援事業 2027年2月期中間期



2027年2月期 中間連結会計期間の業績(営業利益の増減要因)



2027年2月期 中間連結会計期間の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2026年8月末		2026年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	2,289	64.4	2,285	63.2	4	0.2
	固定資産	1,267	35.6	1,328	36.8	△60	△4.6
	資産合計	3,557	100.0	3,613	100.0	△56	△1.6
	流動負債	610	17.2	708	19.6	△97	△13.7
	固定負債	74	2.1	49	1.4	24	48.6
	負債合計	684	19.3	758	21.0	△73	△9.6
	資本金	455	12.8	455	12.6	—	0.0
	資本剰余金	538	15.1	538	14.9	—	0.0
	利益剰余金	2,854	80.2	3,102	85.8	△247	△8.0
	自己株式	△977	△27.5	△1,241	△34.4	264	△21.3
	株主資本	2,871	80.7	2,854	79.0	16	0.6
	その他包括利益累計額	0	0.0	0	0.0	0	4.9
	純資産	2,872	80.7	2,855	79.0	17	0.6
負債・純資産合計		3,557	100.0	3,613	100.0	△56	△1.6
BPS		157.05		156.13			



2027年2月期 中間連結会計期間の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2027年2月期Q2累	2026年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	176	249	△72
投資活動CF	7	△536	544
財務活動CF	△99	△103	4
換算差額	0	△2	2
増減額	84	△394	478
期首残高	1,712	1,979	△266
期末残高	1,797	1,585	212

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前中間純利益が182百万円、のれん償却額が29百万円、売上債権及び契約資産の減少額が103百万円、未払債務の減少額が66百万円、法人税等の支払額が49百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が16百万円、投資有価証券の売却による収入が26百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

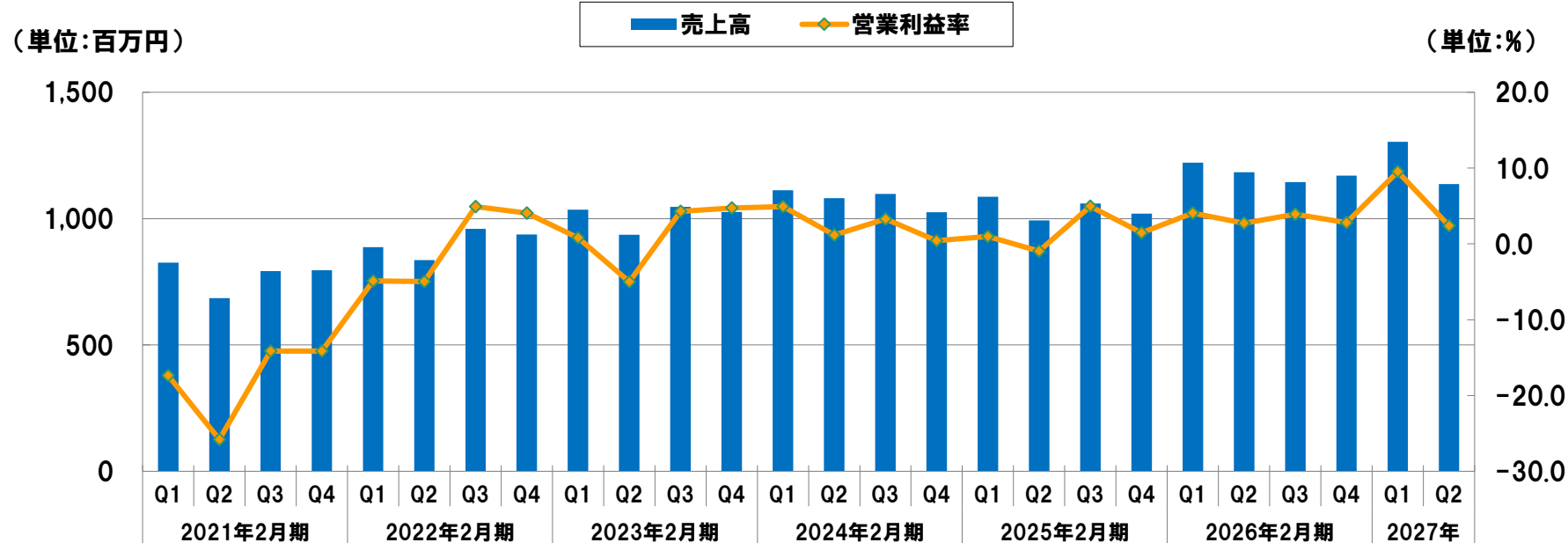
- ◆ 主に、配当金の支払額が97百万円等となったためです。

当中間連結会計期間の総括

2026年3月1日～2026年8月31日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。2021年2月期にはコロナ感染症拡大の影響により営業損失を計上。コロナ感染症に伴う行動制限解除に伴い、経済活動が正常化へと進み、徐々に売上が回復し、コスト圧縮効果と合わせ営業黒字を継続して計上しています。
- ◆ 当社は今後も市場成長性と収益性の高い分野へ事業を集中するとともに、将来的な成長性が見込まれる新しいソリューションサービスの創出、そして成長性下支えする経営基盤の構築が必要であると考えております。具体的には、継続した『ワガシャ de DOMO』等のHRテックの拡販に加えフリーランス・副業人材を中心としたプロのリクルーターを活用したRPO事業の首都圏以外への地域展開や付加価値の高いサービスの拡充を進めて参ります。



事業環境

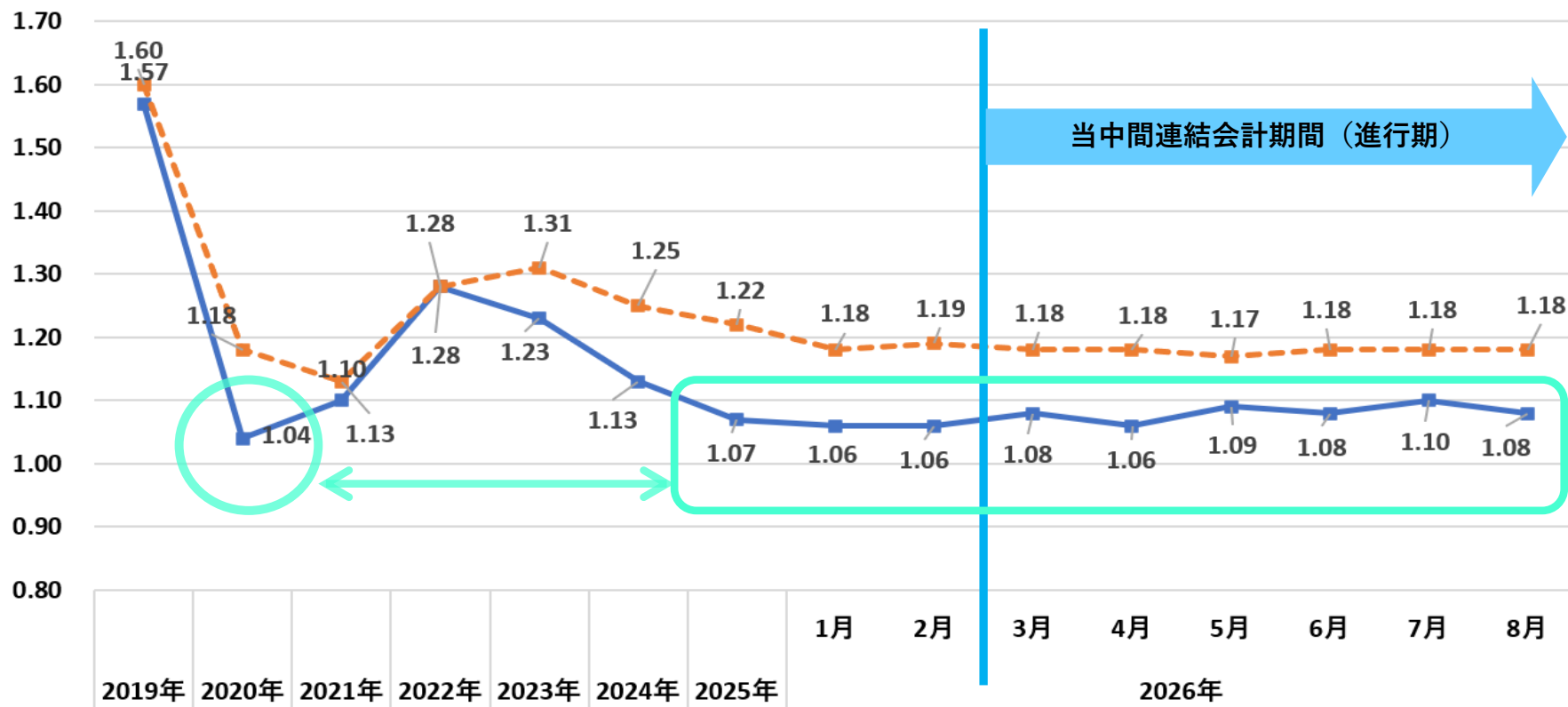
収益基盤である静岡県の有効求人倍率の推移が弱含みであり、コロナ禍中の2020年度と同水準となり、有効求人倍率は全国平均を下回る状態

有効求人倍率推移

(単位:倍)

—■— 静岡県 —□— 全国

出所: 静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



成長に向けた投資の実施

- 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【新規事業投資】

人材教育関連費用

投資額

127

百万円

人材教育事業の1つである、
IT未経験の新卒者向けの
IT教育事業

【固定資産投資】

固定資産投資費用

投資額

7

百万円

内訳

投資関連 2百万円

Web関連投資 5百万円

設備は建物付属設備、Web関
連投資は、主に「ワガシャ de
DOMO」の機能開発など

当中間連結会計期間における成長に向けた投資は135百万円(前年同期154百万円)



重点施策

HRテック「ワガシャ de DOMO」のオプションサービスの拡充および 拡販施策の継続 ならびに RPO事業の展開等

自社専用の採用サイトを簡単に
作成できる採用管理システム(ATS)

ワガシャ de DOMO!

などHRテック事業

【実施内容】

- ◆協業パートナーとの業務提携等による
販路拡大施策の継続
- ◆利便性の追求によるオプションサービスの拡充

HRテック事業 連結

売上高
1,264百万円

HRテック 連結売上高構成比
51.8%

前中間連結会計期間比

+4.9%

(当中間連結会計期間：内部消去取引前)

※「ワガシャ de DOMO」
と附属する代販商品等の売
上を合算した売上構成比

フリーランスや副業人材を中心とした
プロのリクルーターを活用

RPO事業

【実施内容】

- ◆株式会社WHOMによる
首都圏地域を中心とした新規顧客開拓
- ◆新たな需要の取り込みを目的として他
地域への営業展開を継続

売上高
176百万円

連結売上高構成比
7.2%

前中間連結会計期間比

+11.4%

(当中間連結会計期間：内部消去取引前)

※RPO事業として計上してい
る連結商品別の売上構成比



連結業績予想

2026年3月1日～2027年2月28日



業績予想

※2026年10月7日に業績予想の修正を行ったため、2026年4月9日に発表した2027年2月期通期予想と差異があります。詳細は次ページをご確認ください。

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:％		2027年2月期		2026年2月期		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		5,024	100.0	4,719	100.0	305	6.5
売上原価		1,635	32.5	1,557	33.0	78	5.0
	印刷費	198	3.9	205	4.4	△7	△3.7
	労務費	123	2.5	123	2.6	0	0.4
	その他売上原価	1,313	26.1	1,227	26.0	85	7.0
売上総利益		3,389	67.5	3,162	67.0	226	7.2
販管費		3,109	61.9	3,001	63.6	107	3.6
	人件費	1,805	35.9	1,750	37.1	55	3.2
	広告・販促費	606	12.1	539	11.4	67	12.6
	流通費	23	0.5	28	0.6	△5	△18.0
	その他販管費	672	13.4	684	14.5	△11	△1.6
営業利益		280	5.6	160	3.4	119	74.9
経常利益		277	5.5	169	3.6	108	64.1
税金等調整前当期純利益		282	5.6	169	3.6	113	66.9
親会社株主に帰属する当期純利益		167	3.3	189	4.0	△21	△11.2
EPS		¥9.18		¥10.33			



【補足資料】2027年2月期業績予想の修正に関するお知らせ詳細

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5,024	280	277	139	7.63
今 回 修 正 予 想 (B)	5,024	280	277	167	9.18
増 減 額 (B - A)	0	0	0	28	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	20.3	
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 6 年 2 月 期)	4,719	160	169	189	10.33

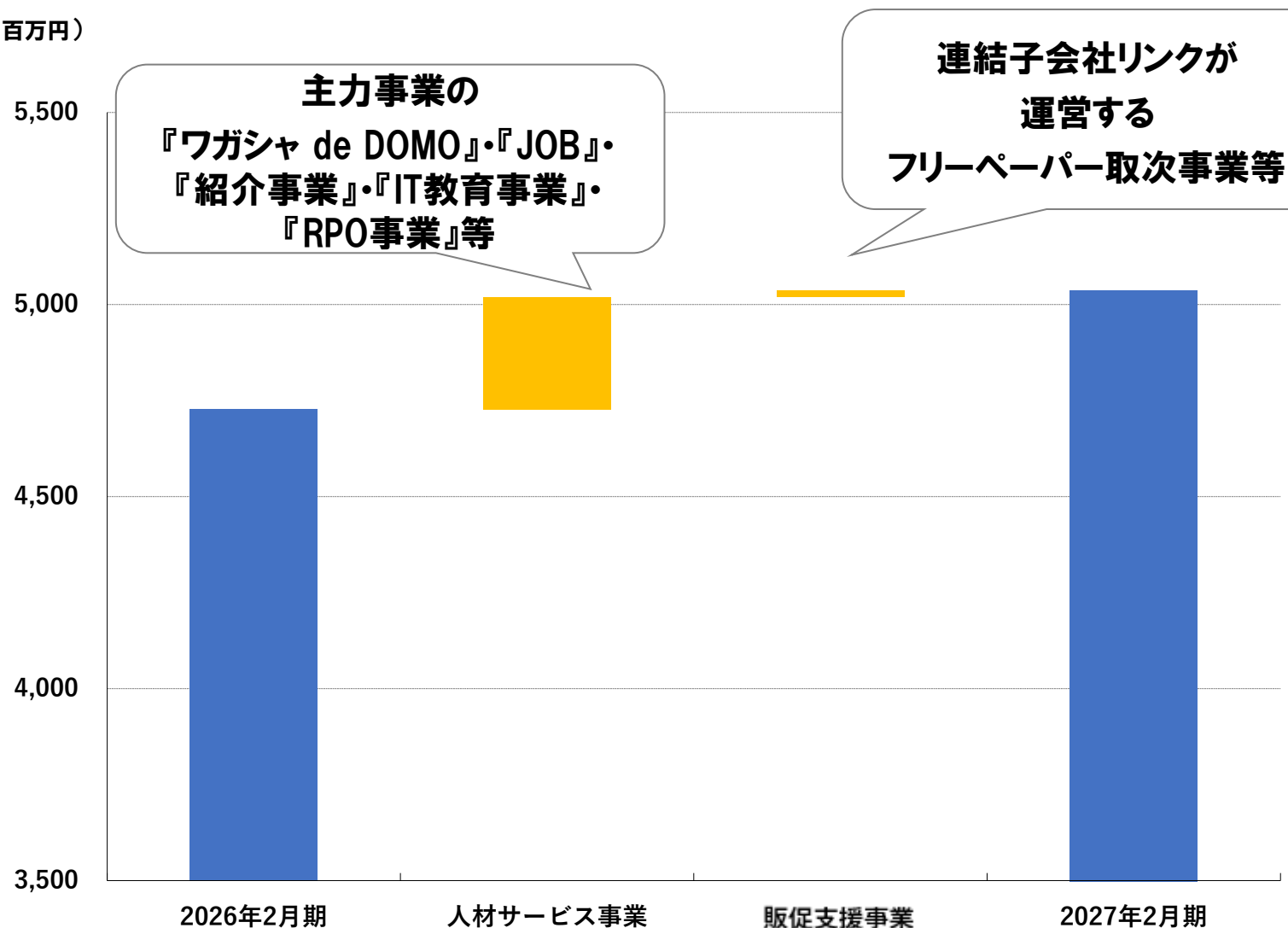
2027年2月期第2四半期累計期間において、投資有価証券売却益を特別利益として26百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想を上回る見込みとなったため、2026年4月9日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたします。なお、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、前回公表予想から変更ありません。

また、今回の業績予想の修正に伴う2027年2月期の期末配当予想の修正はございません。



セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



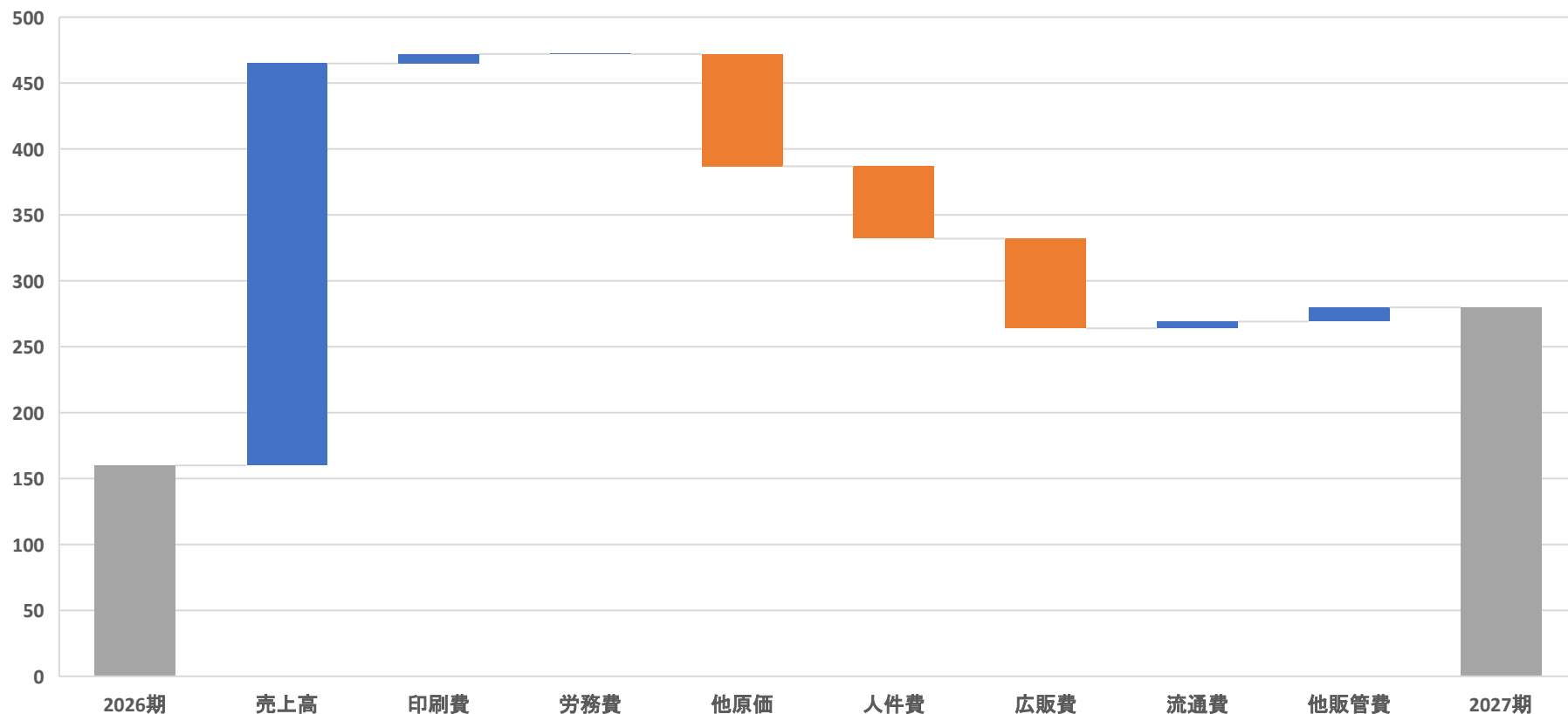
売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費投入も黒字継続

営業利益増減要因

(単位:百万円)

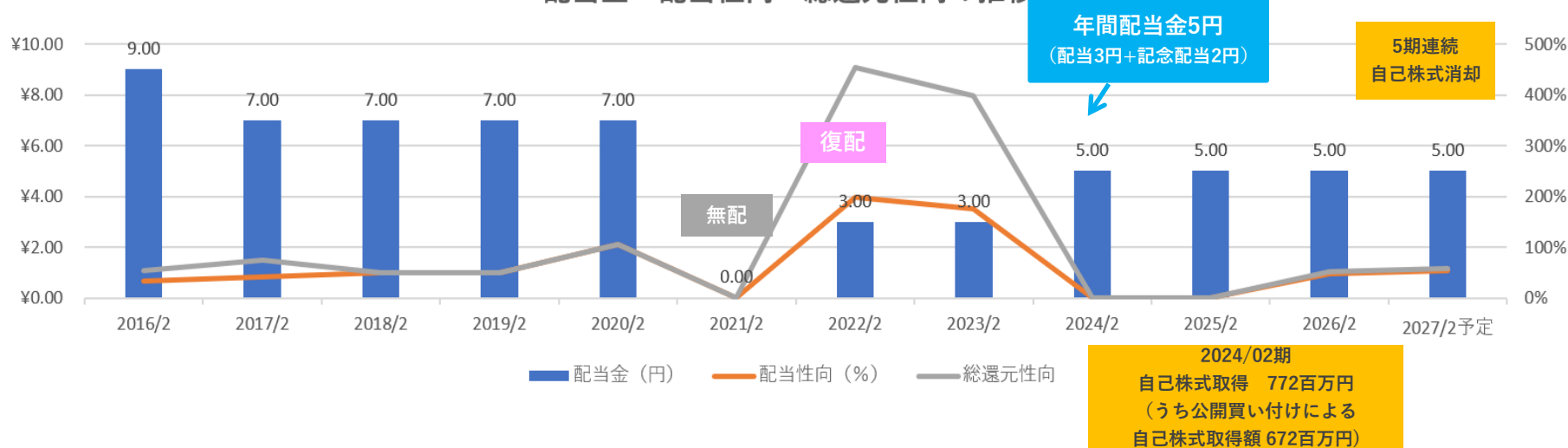
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



株主還元

当期及び次期は1株あたり5円の配当とさせていただきます。
また株主還元の一環として2026年10月16日に自己株式100万株の消却を行いました。

配当金・配当性向・総還元性向の推移



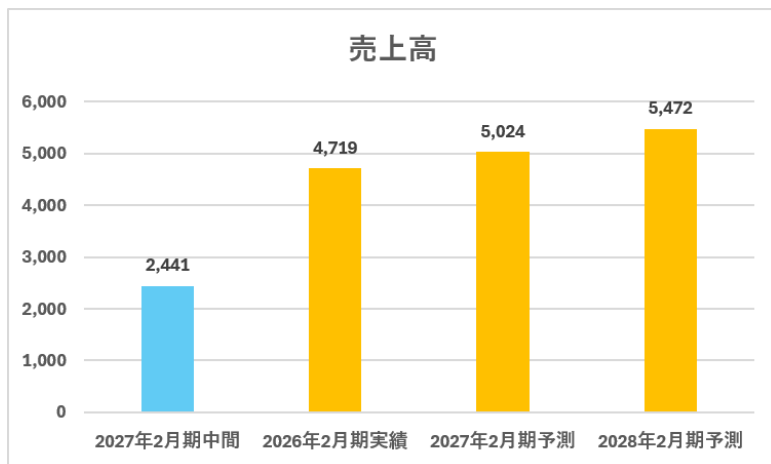
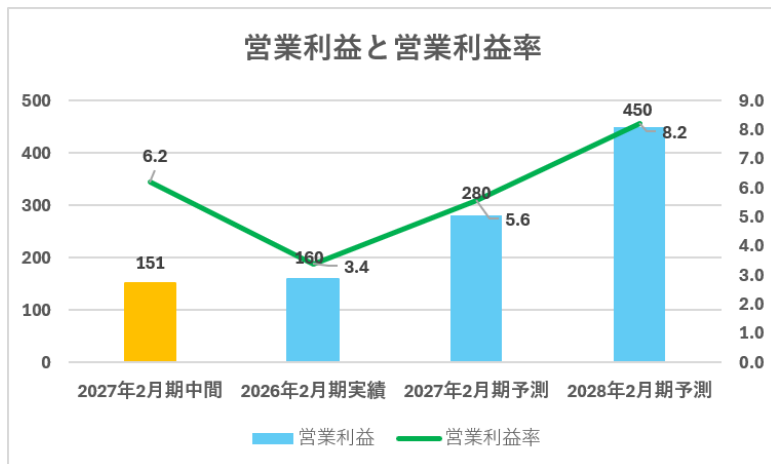
当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

当期の配当につきましては、1株当たり5円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり5円の期末配当を予定しております。(2026年4月17日、7月17日、10月16日に自己株式を各100万株(合計300万株)消却を実施しました。)



中期経営計画進捗状況報告

グループ利益計画においては、順調に進捗しております
人的資本を基本とした環境整備に関しては、2027年2月期末に指標の実績を開示します



(単位 : 百万円)	2027年 2月期2Q	2026年 2月期 実績	2027年 2月期 予測	2028年 2月期 予測	【参考】 進捗率 (2027_2Q /2028期)
売上高	2,441	4,719	5,024	5,472	44.6%
売上原価	801	1,557	1,635	1,806	44.4%
売上 総利益	1,639	3,162	3,389	3,665	44.7%
販管費	1,488	3,001	3,109	3,215	46.3%
営業利 益	151	160	280	450	33.6%
営業 利益率 (%)	6.2	3.4	5.6	8.2	75.2%



免責事項

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。また、本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部
管理部 経理IR課

E-mail: ir@atimes.co.jp

HP: <https://www.atimes.co.jp>

※お問い合わせ等はメールまたは
下記コーポレートサイトお問合せ窓口よりお願い致します
<https://www.atimes.co.jp/contact/>

